

(16) 障害学生支援室**① 設置の趣旨（目的）及び組織****ア 組織設置の趣旨（目的）**

障害学生支援室は、関係組織と連携を図りながら障害学生への全学的な支援体制を強化し、もって障害学生の円滑な修学に寄与することを目的として平成28年4月1日に設置した。

また、同支援室は、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の施行（平成28年4月1日）に伴い制定した「国立大学法人上越教育大学における障害を理由とする差別の解消の推進に関する役職員対応規程」においては、障害学生の相談窓口として位置づけられている。

同支援室の業務内容は次のとおりである。

- i) 障害学生の支援方法及び支援制度に関すること。
- ii) 入学前の修学相談に関すること。
- iii) 障害学生のニーズの把握に関すること。
- iv) 障害学生に対応した施設等の整備に関すること。
- v) 障害学生支援情報等の公開及び支援の啓発に関すること。
- vi) 学内関係組織及び学外関係機関等との連絡調整に関すること。
- vii) その他障害学生の支援に必要な事項

イ 組織の構成及び構成員等

障害学生支援室は、室長及び室員で組織されており、室長は学長が指名した副学長、室員には、コーディネーターとして学長が指名した教員及び学長が指名した事務系職員で構成されている。

② 運営・活動の状況**ア 委員会等の開催状況**

平成28年度は、障害学生支援室会議を4回、障害学生毎に設置した障害学生支援連絡会議を延べ8回開催した。

イ 審議された主な事項

- i) 障害学生支援室会議
 - ・ 障害学生支援室の業務
 - ・ 障害学生との合理的配慮の合意形成
 - ・ パソコンテイク・ノートテイク研修会
- ii) 障害学生支援連絡会議
 - ・ 各障害学生（3名）からの合理的配慮申請に対する各支援内容

ウ 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

障害学生からの合理的配慮申請に基づき、学内の関係組織との連携により当該障害学生の修学支援、生活支援を実施するとともに、聴覚障害の学生を支援するパソコンテイク・ノートテイクの学生を対象として、テイクスキル向上のための研修会を実施した。

③ 優れた点及び今後の検討課題等

障害学生支援室は設置初年度であり、手探りで合意形成等の業務を進めるような状況であったが、コーディネーターとスタッフの尽力により円滑な業務運営を行うことができた。次年度は新入生を主な対象

として障害学生に係るボランティア説明会を実施する。また、パソコンテイク・ノートテイク研修会の内容を初級，中級として2回開催し，さらなるテイクスキルの向上を図る。